

## サイクリングを通じて日台交流

愛媛県経済労働部管理局国際交流課

愛媛県は道後温泉などの訴求力のある観光資源や瀬戸内海や石鎚山などの豊かな自然環境に恵まれています。本県ではこれらを活かした海外からの誘客を積極的に進めておりますが、近年、取組みを強化しているのが、サイクリングをツールとした観光誘客です。

本県のサイクリング資源の代表格である、愛媛県と広島県を結ぶしまなみ海道は、世界で唯一、自転車で海峡を渡ることができる橋としてサイクリストからの評価も高く、橋上から望む瀬戸内海とそこに浮かぶ島々が織り成す景観は、世界に誇りうる絶景です。

中村知事は、このしまなみ海道を中心としたエリアをアマチュアサイクリストの聖地としたいという強い意志のもと、平成 23 年 11 月に台湾に本拠地を置く世界的な自転車メーカー・GIANT 社の劉会長を訪問し、本県の取組みへの理解と協力を求めました。

これを受け、今年 5 月 10 日から 15 日にかけて、

劉会長が代表を務める台湾からの訪問団 43 名が来日し、しまなみ海道を中心に瀬戸内の島々などをサイクリングする「日台交流 瀬戸内しまなみ海道サイクリング」が実施されました。

このサイクリングツアーは、劉会長が設立した財団法人自転車新文化基金会在が主催したもので、本県は広島県をはじめとしたしまなみ海道地域の各自治体と連携し、このツアーのサポートを行いました。

4 日間で計 265 キロを走行したこのツアーのメインイベントとなったしまなみ海道走行では、台湾からの訪問団に多数の国内関係者等が加わり、なんと 150 名あまりがサイクリングを行いました。





た。

サイクリングユニフォームとヘルメット、スポーツサングラスに身を包んだ150人あまりのサイクリストが一行で来島海峡大橋を渡る姿は壮観であり、またその一団の安全走行を支えるため、GIANT社日本法人の主導によって整えられたサポート体制は、その一翼を担った行政側の認識を塗り替える、各方面への充実した配慮がなされたものでした。

本県としては当初より、このサイクリングツアーが今後のサイクリング施策にとって大きな布石となると認識しており、台湾のサイクリストたちに本県のサイクリング資源の魅力を積極的にアピールするとともに、サイクリング環境向上のためのアドバイスをいただきたいと考えていました。

今回のツアーを通じて、しまなみ海道とその周辺地域のサイクリングロードについて、多くの方に高い評価をいただくとともに、標識の整備等、具体的な改善点についての貴重な意見も伺うことができ、その点だけでも、当初の期待を上回る成果を得られたといえます。

しかし、何よりも大きな収穫となったのは、来県された訪問団の皆様との心と心の交流でした。ともにサイクリングを行った中村知事のみならず、休憩ポイント等でサイクリング団を笑顔で歓迎した地域住民の方々、移動や宿泊、食事提供等に協力いただいた各団体の皆様、走行サポート等の支援業務にあたった行政関係スタッフ等々、多くの愛媛県民が、明るくエネルギーな訪問団メンバーとの交流を行うことができました。

GIANT社・劉会長は、自転車を通して自然とつながり、人とつながり、そして人生を楽しもう

というコンセプトである「RIDE LIFE」という生活スタイルを提唱しておられます。

「台日交流 瀬戸内しまなみ海道サイクリング」のあらゆるシーンで、この実践が見られたことは、今回のツアーをきっかけにしまなみ海道の魅力を世界に向けて発信し、今後、自転車を核とした施策の展開に取り組もうとする本県にとって、人と人とのつながりという施策の土台を再認識する、得がたい経験となったのです。

自転車はその土地土地の風土に寄り添う乗り物であり、風土は何よりも雄弁に、その土地の「人」と「魅力」を伝えます。

愛媛県では、今回の成果を台湾の皆様とより深い絆を築いていくきっかけと捉え、サイクリングブームに沸く台湾から、多くの方にしまなみ海道等に来訪いただくとともに、相互交流のための夢の架け橋である松山(しょうざん)空港 - 松山(まつやま)空港のチャーター便の実現に努めてまいります。

また、しまなみ海道とその周辺地域だけでなく、しまなみ海道以外の県内サイクリング資源についても、積極的なアピールとサイクリング環境の整備を行い、本県の魅力を一人でも多くの皆様に体感していただけるよう、心と心をつなぐ観光誘客の取組みを進めていきたいと考えています。